

出題の意図

この問題は、企業経営における意思決定の多面的な視点を評価することを目的としています。具体的には以下の力を測ります。

1. **経営環境分析力**
 - ・人件費や地価の上昇、環境コストなど、外部環境の変化が企業に与える影響を理解できるか。
2. **財務的視点の活用**
 - ・株価、借入利子、外国為替など、財務指標やリスクを考慮した意思決定ができるか。
3. **持続可能性・社会的責任の認識**
 - ・SDGs や外国人労働者の活用など、現代企業に求められる社会的課題への対応を踏まえた判断ができるか。
4. **論理的思考と文章構成力**
 - ・複数の要素を整理し、説得力ある理由付けを行う能力。

考慮すべき要素

- **財務面**
 - ・株価：合併によるシナジー効果で株価上昇が期待できるか。
 - ・借入利子：合併後の資金調達コストはどうか。
 - ・外国為替：A社が海外企業であるため、為替リスクが増加する可能性。
- **経営環境**
 - ・人件費高騰：合併により規模の経済が働き、コスト削減できるか。
 - ・地価上昇：固定資産コストの増加が利益に与える影響。
- **社会的要素**
 - ・SDGs：環境コストや持続可能性への対応が企業価値に影響。
 - ・外国人労働者：人材確保の柔軟性。
- **後継者問題**
 - ・B社単独での事業継続が困難なら、合併は合理的選択。

結論例

- **合併に賛成する場合**
 - コスト増加や後継者問題を解決し、株価上昇や長期的安定を期待できる。
- **合併に反対する場合**

→ 為替リスクや経営方針の違いを懸念し、独立性を重視。

- **株を売却する場合**

→ 合併後の不確実性を避け、現時点で利益確定。

模範解答例（合併に賛成）

A社の進出により、当該都市では人件費高騰や地価上昇が顕著となり、B社の経営環境は厳しさを増しています。この状況下で、私はB社株主として、合併に賛成する選択を取ります。その理由は、財務面・経営面・社会的要素の三点から説明できます。

第一に、財務面です。合併によりA社の資本力を活用でき、借入利子負担の軽減が期待できます。また、A社の技術力や販売網とのシナジー効果により、B社の株価は中長期的に上昇する可能性があります。確かに、外国為替リスクは増加しますが、グローバル展開による収益機会を考えれば、リスクは許容範囲と判断します。

第二に、経営面です。人件費高騰や地価上昇は単独企業にとって大きな負担ですが、合併により規模の経済が働き、コスト削減が可能です。さらに、B社には後継者問題があり、経営の持続性に不安があります。A社との統合は、経営基盤を強化し、長期的な安定を確保する有効な手段です。

第三に、社会的要素です。近年、企業にはSDGsへの対応が求められています。A社は環境コスト削減や外国人労働者の活用に積極的であり、持続可能な経営を推進しています。これにより、企業価値の向上と社会的信頼の獲得が期待できます。

以上の理由から、私は合併に賛成します。短期的な不確実性はあるものの、財務的安定、経営効率化、社会的責任の観点から、合併はB社株主にとって合理的な選択肢と考えます。